

全校朝会 「 あいさつをしよう -オアシス運動- 」

令和7年4月14日（月）

奥沢小校長 前田 恵里

今日は、今年度初めての全校朝会、放送による朝会です。1年生も画面を見て聞いています。最後までしっかりと聞きましょう。

新しい学級に、少しづつ慣れ始めたところではないでしょうか。昨年度と比べると、自分から挨拶をする子が随分と増えたように思います。先生方からも、「廊下で自分から挨拶をする子が増えましたね」と聞きました。また、今年度の6年生は、なんと自分たちから率先して、朝、校門に立って挨拶をしてくれています。とても嬉しいことです。挨拶はする方もされる方も気持ちよくなります。



では、丁寧に挨拶をする動物は他にいるでしょうか。「犬」「鳥」「チンパンジー」の中にいます。正解は「チンパンジー」です。調べてみました。動物園の飼育係の方の話では、チンパンジーは、朝起きると一斉に広場に出るそうです。広場に出ると、お互いが顔を向け合って「ホウ、ホウ、ホウ」と言い合うそうです。「おはようございます」という言葉かもしれません。その次に、お互いの指と指をくっつけ合うそうです。これは人間でいうと何になりますか。そう「握手」なのかもしれませんね。その後さらに、一番仲の良い同士がお互い肩を寄せ合って、相手の肩をトントンとたたき合います。これは人間でいうとどんな行動なのでしょうかね。「ホウ、ホウ、ホウ」「手の指と指」「肩のトントン」この3つのあいさつは毎朝必ず行われます。しかも、「ホウ、ホウ、ホウ」のあいさつを忘れたり、怠けたりすると、仲間に入れてもらえないことがあるそうです。チンパンジーの世界では、朝のあいさつは仲良しになるための「約束事」なのだと思います。私たち人間も挨拶をすることで、人と人が仲良くなれるということは一緒ですね。

さて、みなさんは「オアシス」という言葉を覚えていましたか。2年前の全校朝会で紹介しました。いろいろな意味がありますが、今日は「あいさつをするときの合言葉」としての「オアシス」を紹介します。

では、「オアシス運動」の「オアシス」とは何か、皆さんで確認していきましょう。オアシスのオは「おはようございます」、アは「ありがとうございます」、シ「しつれいします」（職員室や他の教室に入るときの挨拶です。）、スは「すみません」です。オ・ア・シ・スのそれぞれの意味を覚えて、進んで使ってみましょう。みんなであいさつをしようと心がけることを「オアシス運動」といいます。

また、ほかにも、あいさつには「こんにちは」や「こんばんは」、「いってきます」や「ただいま」、「いただきます」や「ごちそうさま」など、生活の中のいろいろな場面で使うものがたくさんあります。自分がどんなあいさつをしているか、今月は新年度の始まりでもあ

りますから、確認してみるといいですね。

はじめに、「オアシス」にはいろいろな意味があると言いましたが、ここで本来の意味を紹介します。オアシスとは、本来、砂漠の中で水が沸き樹木が生えているところのことを指します。水のない砂漠に一つの望みを与えてくれる水の沸く場所のことを言うのです。このことから、一般的に、疲れをいやし、心に安らぎを与えてくれる場所のことも「オアシス」と呼ぶことがあります。奥沢小学校の児童のみなさんの挨拶も、きっとみんなの心をいやし、そして元気にする力があると思います。

始業式で話した「夢や希望の種」。校長先生からの一つ目は、「あいさつの種」です。これは、今日から咲かせられる花です。お手入れをして1年間、挨拶の花を枯らさないよう育てましょう。そして、みなさんが大人になった時、豊かな未来を創るために、挨拶は欠かすことができません。挨拶は人と人が繋がっていくために、最も基本的なことです。いつも決まった人や仲の良い友達だけでなく、誰とでも丁寧な挨拶をこれからも心掛けて実践していきましょう。